

岡山のとしょかん

岡山県図書館協会報
(第 137号)

美咲町立中央図書館移転 OPEN !

■施設の概要

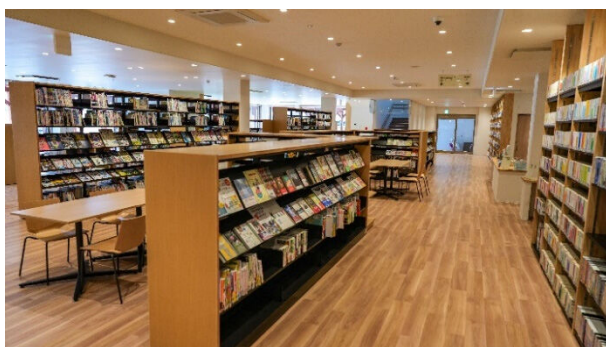
美咲町立中央図書館は令和 6 年 6 月 30 日(日)に美咲町原田へ移転オープンしました。「美咲町生涯学習センター」1 階に図書館機能を持たせ、「みんなの交流の場」というコンセプトのもと、どなたでも気軽に訪れやすい空間としています。

国道 53 号線の近くという立地、美咲町生涯学習センターの周辺には美咲町物産センター、体育館、卵かけごはんで有名な食堂かめっち。もありますので、今まで中央図書館に来られたことがなかった方や観光のついでに立ち寄られる方も多くなっています。

ひと味違った中央図書館となっていますので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。詳細は 2 ページでご紹介いたします！



[美咲町生涯学習センターの外観]



[図書館の内観]

(美咲町立中央図書館 山本 佳苗)

瀬戸内市立長船図書館移転 OPEN!

7月2日(火)9:00
長船図書館移転オープン

本を借りた方に
贈呈記念グッズを
プレゼントします!
(図書250冊)

8/10(土) まー号がやっでる!
9:00~12:00
オリジナル缶バッジをつくろう

8月10日に、本を借りると、カウンターで、缶バッジの依頼をお願いします。
自分でデザインして、数日に1つだけのオリジナル缶バッジをつくってきましょう。

瀬戸内市長船図書館 0869-26-8009

■施設の概要

瀬戸内市立長船図書館は、令和 6 年 7 月 2 日(火)に移転しました。市民図書館で好評な自習スペースを長船図書館にも 8 席設けています。コンセントもありパソコンも使用可能です。東向きで窓に向かってるので明るく、図書館入口から一番奥にあるため静かに自習ができます。

市民図書館では中・高生の方が多く利用されていますが、長船図書館では一般の利用者の方も多く見受けられます。平日の早い時間に来られる方もいます。夏休みには親子が自習スペースで宿題をされている姿がみられます。閲覧スペースもゆったりとっており、以前の長船図書館より利用者の滞在時間が長くなっています。家族で一つの机を囲んで読書をしている姿も見られます。絵本コーナーには、靴を脱いで本が読めるスペースも設置しています。

また「おはなしのへや」があり、毎月第 2 水曜日と第 3 土曜日にボランティアさんによるおはなし会を開催しています。おはなし会の時には、親子で懐かしいわらべうたや手遊びなどを楽しむ、すてきな時間が流れています。

(瀬戸内市立長船図書館 出射 久美)

新たな美咲町立中央図書館の魅力

■新たな特徴

令和 6 年 3 月に「美咲町読書バリアフリー計画」を策定したことをきっかけに美咲町立中央図書館ではバリアフリーコーナーを拡充させました。拡大読書器や電子ルーペの導入、大活字本やさわる絵本の購入なども増やしました。

今後は誰もが「使いやすい!」と言っていただけるような図書館を目指し、PR に力を入れたり、職員研修も行っていく予定です。



[バリアフリー機器コーナー]

■新たな人気スペース

どなたでもくつろいで使っていただける、畳スペースや読み聞かせスペースができ、幅広い年代の方に毎日大盛況です。親子やきょうだいで読み聞かせをされていたり、大人の方が読書や勉強に使われていることもあります。ブロックやぬいぐるみもあり、大活躍しています。



[手前: 畳スペース、奥: 読み聞かせスペース]

表紙見せの棚をメインで配置していたり、電子図書館を導入したりと今までとは違う中央図書館になっています。お近くまで買い物や観光にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

(美咲町立中央図書館 山本 佳苗)

新たな長船図書館の役割

■長船図書館の概要

建物は、改修を進めていたゆめトピア長船で、長船町公民館・瀬戸内市文化センター・長船図書館で構成する複合施設です。図書館の延床面積は、約 250 m²、蔵書冊数は、20,000 冊（令和 6 年 7 月現在）です。以前の長船図書館より長船駅に近くなり、公共交通の利便性はよくなりました。同じ敷地に長船支所があります。

■長船図書館開館記念イベント

移転に伴いイベントを開催しました。7 月 2 日（火）から本を借りられた方 250 名に、開館記念グッズをプレゼントしました。また、8 月 10 日（土）には、せとうちまーる号（移動図書館車）が長船図書館に出張し、本を借りた方向けに、オリジナル缶バッジ作成イベントを開催しました。

■長船図書館の役割

瀬戸内市には瀬戸内市民図書館もみわ広場・牛窓図書館・長船図書館の 3 つの図書館があります。その中で長船図書館が 1 番小さな図書館です。しかし、週 4 回の瀬戸内市内図書館配送や県内図書館の相互貸借サービスなどを利用して、利用者の方に満足いく資料の提供ができればと思っています。すべての利用者の方に「長船図書館があつてよかった」と思ってもらえるよう、これからも図書の充実と居心地のいい図書館を目指していきたいと考えています。

[長船図書館内 写真]

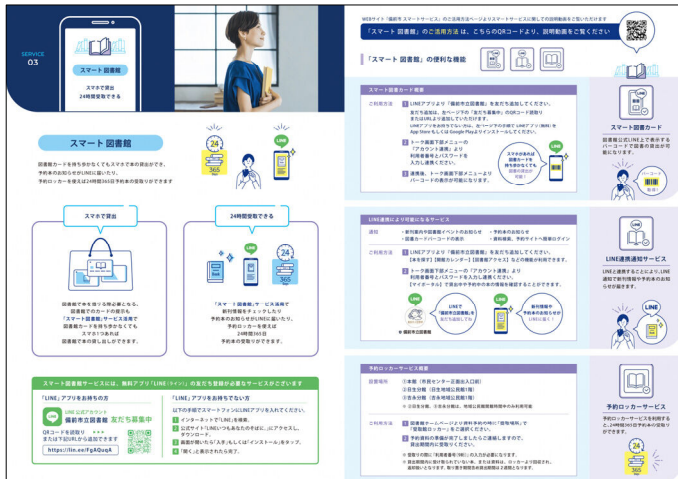


(瀬戸内市立長船図書館 出射 久美)

備前市立図書館 スマート図書館

国のデジタル田園都市国家構想交付金 Typex を活用した備前市スマートサービスのひとつとして、スマート図書館が令和 6 年 3 月からスタートしました。

スマート図書館の目的は、デジタル技術とマイナンバーカードの利活用により図書館サービスの利便性向上を図ることで、図書館カードを持ち歩かなくてもスマートフォンで本の貸出しが出来たり、新刊案内や図書館イベント情報、予約本のお知らせなどが LINE に届いたり、予約本受取りロッカーを使えば 24 時間 365 日予約本の受取りが可能です。



〔スマート図書館リーフレット〕

スマート図書館の主な機能は下記の 3 つです。

- ① LINE 画面上での利用者バーコードの表示
- ② LINE での図書館情報のお知らせ
- ③ 予約本受取りロッカーサービス

①、②を利用するためには、図書館 LINE 公式アカウントの友だち登録が必要となります。LINE は国内の利用率が全世代において最も高い SNS のため利用者への案内、周知は比較的スムーズに実施できました。また LINE と図書館利用者アカウントを連携することで、OPAC への毎回のログイン操作が不要となるためマイページへのアクセシビリティも向上しました。これら LINE によるサービスの利用者の反応は比較的良好で、

LINE 公式アカウント登録者数も少しずつ増えています。一方、LINE の効果的な情報発信方法や発信内容の工夫などは図書館員の喫緊の課題となっています。

※図書館 LINE 公式アカウント登録者数：560 名(R6.9.1 時点)

③の予約本受取りロッカーサービスについては開始から約半年が経過しましたが、継続的な利用が一定数あり、開館時間中の来館が困難な方、対面貸出しを希望されない方などによって利便性が向上したように考えています。



〔予約本受取りロッカー〕

前述のスマート図書館に加えて、令和 6 年 4 月から FREE Wi-Fi サービスと楽天マガジン閲覧用端末の設置を開始しました。これらのサービスも利用者の利便性向上と効率的な情報収集等に役立てばと考えています。



〔備前市新図書館実施設計外観パース〕

最後に、本市では新図書館の建設、整備が令和 8 年度中の開館を目指して進んでいます。現状では、県内の他の公共図書館と比べて十分な図書館サービスが提供出来ていないのが実状です。新図書館の開館に向けて、スマート図書館をひとつのきっかけとして、さらなる図書館サービスの充実と向上とともに誰もが利用しやすい図書館を目標に日々取り組んでいきたいと考えています。

(備前市立図書館 平川 大)

「つやまエリアデジタルライブラリー」の開始

津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町の 1 市 5 町はそれぞれの市町の特長や特徴を活かした役割分担のもと連携・協力して様々な自治体サービスを行っています。

図書館相互協力事業として、令和 3 年から相互返却サービスを実施していましたが、令和 6 年 7 月 1 日から県内で初めて圏域事業として電子書籍貸出サービスを開始しました。

■電子書籍貸出サービス導入のきっかけ

障害者差別解消法及び読書バリアフリー法への対応を含めたデジタル社会の推進に向けた取り組みの一環として、圏域住民のさらなる利便性向上と将来を支える人材育成の一助とすることを目的として導入を決定しました。

■事業の効果

来館が困難な方への対応に加え、文字拡大や音声読み上げ機能のある電子書籍を導入することで、読書バリアフリー機能を活用することができます。また GIGA スクール構想のもと、児童生徒 1 人 1 台端末環境を活用した電子書籍貸出サービスとの連携、圏域住民の読書しやすい環境づくりの推進が期待されます。

■導入までの経緯

近年の IT 技術の恵沢を享受できるよう令和 5 年の初めに電子書籍貸出サービス導入に向けた検討を始めました。圏域図書館での導入合意を経て、ワーキンググループ会議を重ね、令和 5 年度末に公募型プロポーザルを実施して事業者を決定しました。

事業者を決定した後、電子書籍の新たな選書基準、各市町施行規則、覚書、要綱及び取り扱い要領等を策定し、電子書籍、オーディオブック、洋書等合わせて 31,000 点を用意しました。

またロゴマークの作成、電子図書館サイトの構築、児童・生徒に利用してもらうための各教育委員会との協議、職員研修や広報活動、ポスター

や利用案内の作成など、圏域図書館と協力しながら事業を進めました。

■電子書籍の利用について

津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町に在住または在勤・在学し、いずれかの市町の図書館の貸出券を持っている人が利用できます。

まだサービスは始まったばかりですが、開始から 1 ヶ月の状況から次のような傾向にあります。

- ①1 ヶ月間の貸出総数は 1,700 冊以上
- ②子ども向けの本が多く貸出されている
- ③津山圏域全体の住民や学校等団体も多く利用されている
- ④年齢別では、小学校高学年～中学生が一番多く、続いて 50 歳前後の利用が多い。

以上のことから圏域住民や幅広い年齢の方々に利用されていることがわかりました。

■電子書籍貸出サービス継続と発展のために

電子書籍貸出サービスが圏域住民に浸透し、より多く利用されるためには、継続的な広報活動

とサービスを続けるための予算を確保して、電子コンテンツを定期的に購入していくことが重要です。すべての住民が読書を楽しむことができる環境を整備するため、紙の本に加えてデジタルの書籍を提供し続けることは住民の読書環境の拡充をはかるという公共図書館の大事な役割を果たすために必要なことと感じています。

これからも圏域図書館で連携・協力していきたいと考えています。

(津山市立図書館 菊入 典子)



電子書籍貸出サービスのチラシ

『電子図書サービス うちデジ』試験運用開始

岡山県内でベビーファースト宣言をした高梁市・吉備中央町・美咲町の3市町は、令和5年2月に岡山県中部高原地域3市町連携事業として子育て支援などの連携を開始しました。『岡山のとしょかん 第136号』でご報告したとおり、令和5年8月から「図書館相互利用サービス」を行っており、加えて、令和6年7月からは令和7年2月までの期間で「電子図書サービス おうちデジタルライブラリー」の試験運用をスタートしたところです。

■「うちデジ」の利用方法

図書館の利用者カードをお持ちの3市町在住・在勤・在学の方を対象にIDとパスワードを発行します。インターネットを経由してお手持ちのスマートフォンやタブレット端末、パソコンからアクセスが可能で、一般書・児童書など約1000タイトルの電子図書を読むことができます。中には文字の大きさを変えたり、読み上げたりすることができる図書もあります。雑誌に関しては、TRC-DL マガジン電子雑誌閲覧サービスに掲載の幅広い利用者ニーズに対応する100タイトル以上の雑誌を閲覧することができ、図書館での利用であれば最新号の閲覧も可能です。

貸出点数は3点まで、貸出期間は2週間です。延長も、次の予約が入っていなければ1回のみ延長した日から2週間貸出期間の延長が可能です。返却期限が来たら自動的に返却されますので、延滞の心配はありません。

■利用促進施策

試験運用開始にあたり、小・中学校の朝読書や授業での導入ができるように、各市町で児童・生徒や学校に対してID・パスワードの付与し、準備を進めました。運用開始後には、公民館を活用した高齢者向けスマホ教室での周知など、イベント・講座などで利用促進を図っています。

■今後

岡山県中部高原地域3市町連携事業が目指す「子育て世代が過ごしやすい環境の整備」に向けて、メインターゲットは20~30代の子育て世代や小中学生としつつも、全世代の方へ「おうちデジタルライブラリー」の利用促進をし、読書バリアフリー環境を整えるという観点でも有効な電子図書を多くの方に利用していただいて、紙の図書と共存しながら、様々な読書の形を利用者の方へ提案していきたいと思います。

電子図書サービス
おうちデジタルライブラリー 試験運用
はじめます

2024 7/1 AM 9:00 START
試験運用期間 2024年7月1日~2025年2月28日

試験運用期間 2024年7月1日~2025年2月28日

対象となるサービス

- 高梁市、吉備中央町、美咲町に在住・在勤・在学の方で各図書館、吉備中央町図書館、美咲町立図書館の利用者カードをお持ちの方
- 利用登録カードをお持ちでない方は、図書館まで申し込む必要があります。
- 高梁市図書館をカードでご利用の方は、別途「うちデジ」IDの作成が必要です。高梁市図書館でお手続きください。

試験運用期間

- 各図書館のホームページから「おうちデジタルライブラリー」のウェブページ（<https://www.city.kobayashi.lg.jp/uchideji/>）にアクセスしていただき、下の2次元バーコードからアクセスできます。利用に係る通信費用は、ご自身の負担となります。
- 「おうちデジタルライブラリー」の利用者IDには、利用登録カードの裏面の裏面に半角の文字で記載された、お名前と生年月日、図書館コード（高梁市：0000000000、吉備中央町：0000000000、美咲町：0000000000）を照らし合わせ、お名前と生年月日を照らし合わせて入力してください。
- 初期パスワードは、生年月日の逆順半角10桁です。初めてログインした時にパスワードを変更してください。

問い合わせ先

市町	電話番号
高梁市図書館	0866-22-2912
吉備中央町立図書館	0867-34-1115
吉備中央町立マツモト図書館	0866-54-1331
美咲町立中央図書館	0868-66-7151
美咲町立図書館	0867-27-9012
美咲町立図書館	0868-64-7955

高梁市 吉備中央町 美咲町
岡山県中部高原地域連携事務局（7/1より）

【チラシ】

うちデジとは
いつでも、どこでも インターネット経由で電子図書が読めます
「うちデジ」は、インターネットを経由して、お手持ちのスマートフォンやタブレット、パソコンから電子図書が読めるサービスです。

電子図書の内容

一般書や児童書など約1,000タイトルの電子図書があります
文字の大きさを変えたり、読み上げたりすることができ、読書も楽々です

一般書も 貸出や受取の本
お仕事に役立つ本、小説やエッセイ
趣味の本や実用書も

子どもの本も
絵本や児童書もたくさん！

雑誌も
最新号は、図書館内に、ご自身のスマートフォンやタブレットから読むことができます。
美梁市図書館では、館内のWi-Fiに接続してご利用ください。
吉備中央町、美咲町の各図書館では、図書情報システムに接続してご利用ください。

利用ルール

- ① 貸出点数 3点まで
- ② 貸出期間 2週間
予約が入っていない場合は、1回だけ延長ができます。
延長した日から2週間、貸出期間が延長されます。
- ③ 予約点数 3点まで
取り置き期間は、1週間です。
「うちデジ」のマイページで確認することができます。

「うちデジ」のウェブページ
「うちデジ」のウェブページは、お手持ちのスマートフォンやタブレットからアクセスしていただき、下の2次元バーコードからアクセスできます。

【3市町在住・在勤・在学者は、それぞれの図書館へお問い合わせください。】

（高梁市図書館 佐藤 ちえみ）

矢掛町 図書館フェスティバル

■みんなでつくる図書館フェスティバル

矢掛町立図書館では8月3日(土)に「図書館フェスティバル」を開催しました。矢掛町立図書館はやかげ文化センターの施設内にあり、毎年この日は全館を使用しての大規模なイベントとなります。

ボランティア団体絵本の会ゆめさんによるおはなし会や、グループもぐらさん製作の布絵本など、日頃よりお世話になっているボランティアの皆さんと一緒に盛り上げていきました。

司書による工作教室では押し花のしおりを製作したり、じゃんけん列車大会では大人も子どもも混ざって真剣勝負をしたりしました。優勝した子にはオリンピックにちなんで、手作りの金メダルをプレゼントしました。他にも、文化センターのロビーでは地元で絵を描かれているたま手箱さんの絵画展示を行ったりなど、地域に根差した図書館フェスティバルを開催することができました。



絵本の会ゆめさんによるおはなし会



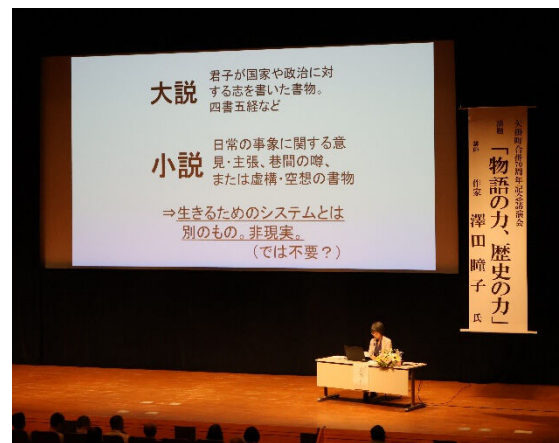
グループもぐらさんによる布絵本

■澤田瞳子氏講演会

図書館フェスティバルと同日に、矢掛町合併70周年記念・矢掛町立図書館開館25周年記念イベントとして「澤田瞳子氏講演会」を開催しました。「物語の力、歴史の力」と題して、講演をしていただき、当日は、170人もお越しいただき大盛況となりました。

講演会では、物語とは何か、歴史とは何かに始まり、歴史というものを我々はどこまで正しく知っているのか。それは物語(フィクション)ではないか。資料を使ってわかりやすくお話をさせていただきました。そして最後の「歴史を知ること、自分の過去を見ること。つまりそれは未来を知ることにつながる」というお話はとても印象深かったです。

講演会後は、地元の書店と協力して書籍の販売やサイン会を開催しました。こちらも大変好評でした。来場者の中には岡山市から来られた方もおり、「ぜひ次回も開催してほしい」と熱いエールをいただきました。



講演をされる澤田瞳子先生

一日を通して、幅広い世代で楽しめるすてきなフェスティバルとなりました。猛暑の中でしたが、無事に終わることができました。また来年も、地域の人々と協力し合ってフェスティバルを開催したいと思います。

(矢掛町立図書館 佐藤 結美)

「ユネスコ創造都市ネットワーク」 文学分野に岡山市が認定されました

令和 5 年 10 月 31 日に、岡山市は「ユネスコ創造都市ネットワーク」の文学分野に認定されました。同分野での加盟認定は、日本国内では初めてとなります。

岡山市は、「坪田譲治文学賞」「市民の童話賞」をはじめとして、児童文学を中心とした文学に関する様々な資源を保有しています。図書館においても、18 世紀には岡山城下の商人河本家が「経(けい)誼(ぎ)堂」といわれる現在の図書館の先駆けとなる施設を民間の力で開設、20 世紀初頭には山本唯三郎氏の寄付により岡山市立図書館が建設されました。残念ながら建物は岡山大空襲で焼失してしまいましたが、その後場所を移転しながら現在に至るまで多くの市民の方に利用され続けています。また、子どもたちにとって身近な学校図書館では、全国に先駆けて学校司書の全校配置を行い、子どもたちと共に文学に親しむ風土を育んできました。

そのような中で岡山市は、令和 4 年より「文学による心豊かなまちづくり」を実現するため、新たに産学官が一体となった組織を設立し文学を軸とした創造都市づくり事業を推進しています。令和 5 年からは「おかやま文学フェスティバル」の一環として旧内山下小学校を会場に「ZINE スタジアム」や「文芸小学校」も行っています。



〔文学フェスティバル 文芸小学校の様子〕

図書館に関わる行事では、岡山県立図書館を会場に、作家平松洋子さんと書店員・司書との対談を行い、たくさんの聴衆の方にご参加いただくことができました。

また、岡山市立図書館を会場に、継続的に文学講座や、子ども向け行事「外国語であそんじゃお♪」などを開催しています。



〔文学講座
時実新子の世界〕

〔文学創造都市
おかやま in
西川アイプラザ
外国語であそ
んじゃお♪〕



今回の「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟をきっかけに、図書館が市民の方にとって文学に触れることのできる一番身近な施設として、更により多くの方に利用してもらえよう取り組んでいかなければいけないと考えています。
(岡山市立幸町図書館 矢納 郁子)

県図協セミナー（第 1 回）に参加して

「ユニバーサルデザインで市民も職員も幸せに」

期日：令和 6 年 6 月 3 日（月）参加者：34 名

講師：関根 千佳氏(株式会社ユーディット会長)

令和元年 6 月に読書バリアフリー法が施行され、今年の 4 月に改正障害者差別解消法が施行されて、図書館職員としても、個人的にも、ユニバーサルデザイン（以後 UD）への関心が高まっているタイミングでのセミナーでした。

関根先生から、日本の UD がいかに遅れているか、なぜ UD が必要なのかを障害の考え方や各国の状況を紹介しながら説明がありました。日本是世界最高齢国家であるにも関わらず、若く健康な人を基準にまちやものを作っていることが指摘され、日本人健常者は自分たちも当事者になりうる自覚がないと言われていました。

さらに、市川沙央さんの芥川賞受賞作『ハンチバック』の中の「私は紙の本を憎んでいた」という言葉で、出版界・作家界に激震が起きたことが紹介され、読書バリアフリーの重要性を改めて痛感しました。視覚障害者に対しては録音図書があっても、肢体不自由で本を持ってない、めくれない人が読書する手法はあまり知られていません。視覚障害やディスレクシアの人が読書に困難を抱えていることは把握していても、肢体不自由の人の読書への壁は認識すらされていませんでした。すべての情報がUDであれば、視覚・聴覚・その他障害に関わらず、だれでもあらゆる情報にアクセスできます。実際に、病気で肢体不自由になった身内は、本を手を持つことができなくなり、電子書籍であれば視線入力装置とPCで読書をすることが可能でした。紙媒体で読書をすることも、自分で情報を得ることもできない不便さを間近で感じました。

日本の図書館が進めるべきUDは、建物やWebサイトのアクセシビリティはもちろんのこと、利用者に合わせた合理的配慮、読書権は人権の一部という意識を持つことが必要です。だれでも情報にアクセスできる情報保障とはどうあるべきか、改めて考える機会となりました。(岡山県立図書館 水田菜摘)

お知らせ

■理事会・定期総会

令和6年度理事会を5月21日に、定期総会を6月3日に開催しました。当日資料および議事録は協会ホームページで公開しています。

【令和6年度役員(敬称・役職略)】

会 長	(施)岡山県立図書館	大西 治郎
副会長	(施)岡山市立中央図書館	永田 朱美
〃	(施)岡山大学附属図書館	甲賀研一郎
理 事	(施)倉敷市立中央図書館	梶田 貴代
〃	(施)総社市図書館	小原 純
〃	(施)中国学園図書館	平井 安久
〃	(施)金光図書館	高橋浩一郎
〃	(個)学校司書	稲葉三千代
〃	(個)青年図書館員研修会	佐藤 賢二
〃	(個)JLA代議員	本山 雅一
監 事	(施)津山市立図書館	菊入 典子
〃	(施)早島町立図書館	芝原 孝典

参 与 岡山県教育庁生涯学習課 滝澤 幸隆
(※(施)施設会員、(個)個人会員の略)

■本年度の研修

- 県図協セミナー(第1回) 6月3日
「図書館ユニバーサルデザインで市民も職員も幸せに」
講師:関根 千佳氏(株式会社ユーディット会長)
参加者:34名
- 県図協セミナー(第2回) 8月2日
「認知症支援・超高齢社会における図書館の役割」
講師:呑海 沙織氏(筑波大学 副学長)
参加者:45名
- 教養講座 10月12日
「POP王直伝!目を引く手書きPOP作成講座」
講師:内田 剛氏(ブックジャーナリスト)
会場:岡山県立図書館
- 県図協セミナー(第3回) 11月8日
「文化施設におけるやさしい日本語導入意義とその可能性—博物館を中心に—」
講師:高尾 戸美氏(合同会社マーブルワークシヨップ 代表)
会場:岡山県立図書館
- 県図協セミナー(第4回) 2月7日
「本の修理について」(仮)
講師:石川 富男氏(有限会社大学製本所)
会場:岡山県立図書館

■令和6年度企画委員

- 委 員 長 梶原 捺未(岡山県立図書館)
- 副委員長 金子千づる(岡山市立中央図書館)
- 委 員 岡田 浩子(倉敷市立玉島図書館)
- 〃 山田 帆風(津山市立図書館)
- 〃 山室 真甲(井原市立井原図書館)
- 〃 佐藤 結美(矢掛町立図書館)
- 〃 金光 研治(金光図書館)
- 〃 木山 知香(新見公立大学附属図書館)
- 〃 村上 波(くらしき作陽大学・作陽短期大学附属図書館)

■現在、募集中!

- 研修参加助成事業による令和6年度の派遣者を募集しています。ぜひご活用ください。
- 令和6年度研究奨励金の交付申請者も併せて募集しています。積極的なご応募をお待ちしています。

令和6年9月30日発行

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30

岡山県立図書館 図書館振興課内

岡山県図書館協会 会長 大西 治郎

TEL:086-224-1269